



2020.2.3 NO.70
保育園 すまいる

年齢別 月の保育のねらい <月のテーマ：協力する>

<0歳児>

- 手や指を使って遊ぶ。
- 周りの環境に興味を持ち、目で追う。

<1歳児>

- 保育者に見守られながら、好きな遊びをじっくり楽しむ。
- 友だちが歌っている歌に興味を持ち、真似して歌おうとする。

<2歳児>

- ごっこ遊びや模倣遊びを通して、言葉のやり取りを楽しむ。
- 色や形、素材の違いなどに気づきながら、製作活動を楽しむ。

<3歳児>

- 友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。
- 自分の思いを言葉で伝えようとする。

<4歳児>

- 友だちと思いや考えを出し合い、みんなで協力して遊ぶ。
- みんなでルールを考えたり、工夫したりして遊ぶ。

<5歳児>

- 相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちをもって接することの大切さに気付いていく。
- 自分の役に自信を持ち最後までより良いものになるように友だちと力をあわせる。

<学童>

- 時間の見通しを持って、計画的に活動する。

<2月の歌>

とけいのうた



<鬼のお面を作ろう！>

2月3日は、節分です。紙皿を使って鬼を作る活動を計画していました。

絵本『おなかのなかに おにがいる』を読んでから、「みんなのお腹の中にある鬼は、何色の鬼か考えてみよう！」と提案してみました。「何色かな?」「お腹の中におにいないもん・・・」「泣き虫だから、ピンクの鬼かな?」絵本の内容とイメージを合わせながら考える子、自分のお腹に向かって聞いている子、自分のお腹には、鬼はいないと言い切る子、一人ひとり、考え方が違いました。

目になる部分を丸の穴をあけた紙皿に自分の鬼の色を塗る活動をしました。新聞紙に絵具を塗る紙皿を置いて、パレットに塗りたい絵具を入れてもらい、筆で塗りました。派手にはみ出して塗る子が少なく、筆の使い方が上手になったことが感じられました。

次の日、お集まりで鬼作りでない活動をしようと思っていたら、「今日は、鬼を作るんだよね」と楽しみにしている子どもたちでした。「別なことをしようと思っていたけど、鬼のお面作りする?」と尋ねると「したい!!」と返事が返ってきました。角を付け、髪の毛をつけ、牙をつける活動です。自分のイメージで、角が10個、つけた子もいました。同じ絵本を読み、同じ材料を使って作りましたが、一人として、同じお面になった子はいませんでした。自分のイメージを工夫して表現することを楽しんでいる、子どもたちの姿に成長を感じました。

2月3日は、豆まきを楽しみたいと思っています。

